

訓練概要

1 訓練の日時・場所・実施機関

(1) 日時

平成 30 年 1 月 18 日 (木曜日)  
午後 2 時 30 分から午後 4 時まで

(2) 場所

都立駒込病院

(3) 実施機関

都立駒込病院、荒川区保健所、民間救急事業者、駒込警察署

2 訓練の目的

新型インフルエンザ都内発生早期において、都内で患者が発生することを想定し、感染症指定医療機関への患者の移送及び院内での受入れについて、実践的な訓練を行い、移送・受入体制の確認を行う。

3 患者の概要

患者：江戸太郎 30 歳 男性 独身

職業：貿易会社勤務

住所：荒川区

経過：5 日間 Y 国 (新型インフルエンザ発生国) に滞在し、2 日前に帰国。

4 日前に現地の有症状者との接触あり

新型インフルエンザ専門外来に留め置き中

症状：38.5℃の発熱、咳、咽頭痛、全身倦怠感 (状態は安定)

4 訓練の流れ

○患者移送・受入れの実働訓練

- ・駒込病院感染症専用入口に、移送車両到着
- ・駒込病院で患者を受入れ (病室への誘導、診察・検査)
- ・病院職員の防護服脱衣
- ・民間救急事業者の車両の消毒、防護服脱衣

訓練実施風景



移送車両を駒込警察署が先導



ソフトアイソレーターで移送①



ソフトアイソレーターで移送②



診察・検査



鏡を見ながら PPE を脱衣



参加者による訓練の振り返り

訓練で確認された事項

【都立駒込病院】

- 定期的に訓練を行うことが必要だと感じた。(医師)
- 声掛けがなかなかできなかった。患者の不安緩和に努めたい。(看護師)
- 例年同様検体を扱った。簡易ガウンの扱いについて確認したい。(技師)
- 初めてフルタイプの个人防护具を着たが、脱衣が難しく、練習が必要だと感じた。レントゲン操作の機会があったらやってみたい。(放射線技師)

【荒川区保健所】

- セパレートタイプの个人防护服を着用するのは初めてであり、貴重な経験をした。
- ゴーグルは曇るので、フェイスシールドの方が良いと思った。

【民間救急事業者】

- ソフトアイソレーターを乗せての訓練は初めてだった。実際は長距離を移送するため、安全性や換気等に注意する必要があると感じた。

【患者 (役)】

- アイソレーターに入っていると、外の人の声が聞き取りづらかった。

【駒込警察署】

- 患者搬送のルートを確認することができた。動線の確保が大切だと思った。